参考様式第５－１号

那塩農畜第254号

令和8(2026)年8月5日

農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定に基づき、公表します。

那須塩原市長　渡辺　美知太郎

市町村名 （市町村コード）	那須塩原市 （09213）
地域名 （地域内農業集落名）	東那須野地区 （唐杉、北弥六、前弥六、沓掛、前弥六南町、沓掛1～3丁目）
協議の結果を取りまとめた年月日	2026年8月5日 （第10回）

注１：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注２：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

１　地域における農業の将来の在り方

（１）　地域農業の現状及び課題

後継者がおらず、また、法律改正等により、貸し借りをするための条件が厳しくなっており、将来的に受け手を見つかることが難しい。農業者で規模拡大の意向はあるが、米価の低迷、経費の高騰、国の補助金の活用も困難なため、規模拡大が難しい。

【地域の基礎的データ】

担い手：３７人、農業者平均年齢：約６２歳、主な作物：水稲、地域特産物：大豆、そば

（２）　地域における農業の将来の在り方

・法人化や集落営農化を図り農地を集約していく。

・地域資源を活かして、魅力ある地域づくりを推進するとともに、観光農業で担い手の収益増加を図る。

・地域住民と農家が交流できる場を設けることで、農業への理解を深める機会をつくる。

２　農業上の利用が行われる農用地等の区域

（１）　地域の概要

区域内の農用地等面積	157.1　ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	157.1　ha
（うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積）【任意記載事項】	ha

（２）農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

（1）農用地の集積、集約化の方針
地域の担い手に農地を集約する。また、法人化や集落営農化を図り農地を集約していく。
（2）農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構を活用して、地域の担い手に農用地の集積、集約を進めていく。
（3）基盤整備事業への取組方針
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、基盤整備事業の活用を検討する。
（4）多様な経営体の確保・育成の取組方針
市、JA等の関係機関と連携し、多様な経営体の確保・育成に努める。
（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地域内で農作業の効率化を図るため、活用できる農業支援サービス事業者等があれば、活用を検討する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等		⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携		⑩その他

【選択した上記の取組方針】